一般社団法人ワンジェネレーション
第5期活動報告

2025年 7月 ~ 2026年 6月

ONE generation
一般社団法人 ワンジェネレーション



ご挨拶

INTRODUCTION

おかげさまで、ワンジェネレーションは第5期を終えることができました。
気候変動の影響が日常の風景を変え、経済のまわり方、食のしくみ、平和のあり方――社会を支えてきたものが、各所で本来の働きを失いつつあります。それは、傷ついていく生態系の風景と重なって見えます。同時に、これまでのやり方を手放し、生命と調和する新しいやり方を迎え入れる、転換の訪れでもあると受け止めています。

私たちは、何を手放し、何を迎え入れていくのでしょうか。
リジェネレーション、リジェネラティブという言葉は、さまざまな場で聞かれるようになりました。それは私たちが願ってきたことです。だからこそワンジェネレーションは、その原点に立ち続けたいと思います。あらゆる生命と協働し、自然の摂理と調和するあり方への変容を喚起する。このミッションのもと、一人ひとりが――そして地域や企業、次の世代の担い手たちが――それぞれの場で動き出すことを支えてまいります。

第5期は、気候の変化を「適応」という視点で捉えるセミナーを、国立環境研究所 気候変動適応センターとともに開催して幕を開けました。連続講座「Dive into Regeneration 2」では、たい肥づくりや棚田の現場に足を運び、身体で学ぶ時間を重ねました。大丸有から始めるリジェネレーション研究会の発足により、新たな道も開かれました。認定ファシリテーターは27名となり、読書会やコミュニティギャザリングでは学び合いの輪が育ちました。

蒔いてきた種が、それぞれの場所で芽吹きはじめています。第6期も、芽吹いたものを育てながら、変容への旅をご一緒できたら幸いです。

2026年 9月

代表理事　鮎川詢裕子

TOPIC 1

連続講座「Dive into Regeneration 2 - 生命の視座で、社会のシステムを見つめ直す - 」(2025年6月開講コース)開催

2025年 6月にスタートした連続講座「Dive into Regeneration 2 - 生命の視座で、社会のシステムを見つめ直す - 」のDay 2 ～ Day 8を今期7月から10月までに開催しました。リジェネラティブな未来を願う仲間と歩むこのプログラムはオンラインをベースに開催しましたが、Day 6 (9月)はローカルフードサイクリング株式会社 代表取締役たいら 由以子さんが運営するHome Work Village（旧池尻中学校、世田谷区池尻）へ、さらにDay 7 (9月)では一般社団法人 小さな地球共同代表林 良樹さんが運営する千葉県鴨川でフィールドワークを行いました。

■ プログラム

Day 1　2025年6月25日 (水)　※第4期に開催
Orientation：
旅の地図を手にし、それぞれの現在地を確認する
ファシリテーター：**鮎川 詢裕子**
（一般社団法人ワンジェネレーション代表理事）

Day 2　7月8日 (火)　※Day2以降は第5期開催
Economy：
生命的な経済の在り方に触れる
講師：**江上 広行**
（一般社団法人 公共善エコノミー 代表理事）

Day 3　7月22日 (火)
Organization：
生命的な組織の在り方に触れる
講師：**武井 浩三（社会システムデザイナー）**

Day 4　8月7日 (木)
Business：
リジェネラティブなビジネスの在り方に触れる
講師：**濱川 明日香**
（一般社団法人 Earth Company 最高経営責任者）

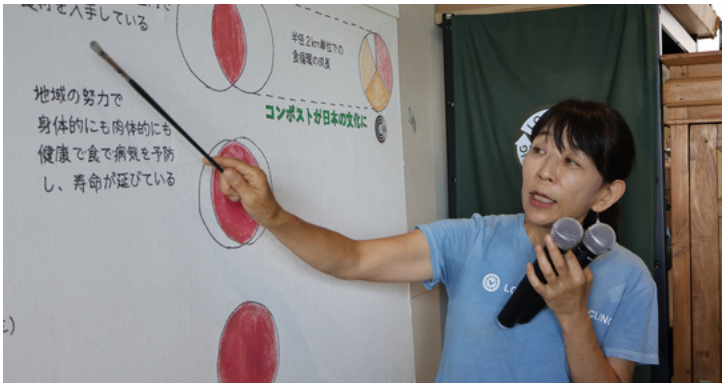
Day 5　8月25日 (月)
Leadership：
リジェネラティブ・リーダーとしての在り方に触れる
講師：**小林 泰紘**
（一般社団法人 Regenerative Leadership Japan 代表理事）

Day 6　9月7日 (日)
Health：
身体の内と外をつなぐ循環に触れる
講師：**たいら 由以子**
（ローカルフードサイクリング株式会社 代表取締役）note

Day 7　9月21日 (日)
Lifestyle：
都市と農村の暮らしをつなぐ循環に触れる
講師：**林 良樹（一般社団法人 小さな地球 共同代表）**note

Day 8　10月6日(月) 19:00-21:30
Agency：
一人ひとりの力を信じ、それぞれの次の一歩を踏み出す
ファシリテーター：**鮎川 詢裕子**
（一般社団法人ワンジェネレーション代表理事）
ナビゲーター：**山口 有里**
（一般社団法人ワンジェネレーション）





▲ ローカルフードサイクリング 株式会社代表取締役 たいら 由以子さんと、Home Work Villageでたい肥から始まる循環を学びました。





▲ 一般社団法人 小さな地球共同代表林 良樹さんと千葉県鴨川市の小さな地球で、天水のみで作る棚田で稲刈りを。参加者が車座になって、それぞれの思いを共有しました。

TOPIC
2

連続講座「Dive into Regeneration 2」
Earth Companyと巡るフィールドワーク in バリ開催

2026年2月には、連続講座「Dive into Regeneration 2」のDay4(8月7日)にご登壇いただいたEarth Company 濱川明日香さんの講義を身体化するフィールドワークを、インドネシア・バリ島で開催しました。2月8日 (日) ～12日 (木）のツアーに大学生や社会人が参加しました。

バリ最大のごみ山スオンコミュニティを皮切りに、子どもと女性の自立支援を進めるBALI LIFE FOUNDATIONや、クレチェン村のリジェネラティブなツーリズムや農業を中心とした事業展開の様子、MIYAWAKI FOREST(宮脇方式の森づくり)を数年前から取り入れているアグロフォレストリ、Earth Companyが運営するエシカルホテルMana訪問など盛りだくさんのプログラムとなりました。
2月21日にはオンラインで、参加者による報告会も開かれ、バリに吹く風を感じながら直面する課題の重さにも触れる大切な機会となりました。

報告会は[こちら]からご覧いただけます。



▲ 美しい農村風景だが、観光による開発圧に晒されている



▲ いつまでも残しておきたい豊かな水田



▲ 水寺にて

TOPIC
3

法人事業

「大丸有から始めるリジェネレーション研究会」発足



▲ 第1回講師・江守正多さんを囲んで

エコッツェリア協会「大丸有ゼロカーボンスクール」の枠組みの中で「大丸有から始めるリジェネレーション研究会」を発足し、ワンジェネレーションも企画・運営として連携しました。
まずは企業向けキックオフの連続講座からスタート。5月から3回にわたって、江守正多さん、小田理一郎さん、小林光さんを講師にお迎えした、「エンゲージメントを高めるリジェネレーション講座」を実施。毎回、講師も交えた参加者同士のコミュニケーションを図る懇談の場を用意しました。主に大手町・丸の内・有楽町エリアの企業を対象に、リジェネレーションの考え方を企業経営の現場に届けていく取り組みとなりました。

ワンジェネレーションも研究会と共に、リジェネレーションの社会実装に向けた第一歩を踏み出し、引き続き活動を継続して参ります。

また同会発足にあたり、「リジェネレーション[再生]」の著者でもあるポール・ホーケン氏から次のメッセージが寄せられました。

> **「ビジネスコミュニティでの取り組みについて、素晴らしいニュースです。みなさんを講師に迎えられることを、とても心強く、そして嬉しく思います。」**
> **"And this is fantastic news about the business community. I am very supportive and pleased with Professor Emori and Richiro Oda."**
> **― Paul Hawken(『ドローダウン』『リジェネレーション』著者／Project Drawdown・Project Regeneration 創設者)**

講師

第1回　江守正多(東京大学 未来ビジョン研究センター教授)
第2回　小田理一郎(チェンジ・エージェント代表取締役)
第3回　小林光(東京大学先端科学技術研究センター 研究顧問、教養学部 客員教授、元環境事務次官)

noteでも詳細をご覧いただけます。
第1回　第2回　第3回

活動報告 REPORT

■　リジェネレーション　ベーシック講座

　2024年4月14日に0期がスタートした「リジェネレーション　ベーシック講座」(以下ベーシック講座)は毎月1回オンライン開催をベースにしています。今期は13回開催しました。「リジェネレーション[再生]」をより深く理解し、受講者自身の生き方や行動の変化を促すことを目指してプログラムされたベーシック講座は、全国にその仲間が広がっています。

開催実績

2025年：7月10日、 8月13日 、8月23日 、9月25日、 10月26日、 11月17日、 12月8日
2026年：1月15日 、2月24日、 3月16日、 4月14日、 5月10日、 6月9日

■　リジェネレーション　ファシリテーター養成講座

　ベーシック講座を通してコミュニティや地域、企業などに伝えていくファシリテーターを養成する目的で実施している当講座は、2024年6月の0期開講以降、2026年6月末までに27人のファシリテーターが誕生しました。
　ベーシック講座の運営サポートや、プログラムの一部でファシリテーターを担当するほか、自身のプログラムやビジネスプランに取り入れていくという声も上がっています。
　また、認定ファシリテーターの知見を深めるための勉強会を2026年2月からスタートしました。月に1回程度、定期的にオンライン・ミーティングを重ねることで、全国のファシリテーターのネットワークが広がっています。ここから認定ファシリテーターとの共同プロジェクトもいくつか立ち上がっています。

開催実績

第4期
日時：2025年12月20日(土) ～ 21日(日)
会場：KFC Hall & Rooms Room104 (東京都墨田区)

第5期
日時：2026年4月22日(水)、4月25日(土)、5月8日(金)
会場：オンライン講座2日間 ＋ リアル講座1日間/品川区立総合区民会館「きゅりあん」（東京都品川区）

■　次世代教育

出前授業・特別講義など
2026年1月14日に都内私立高校で、約30名が参加する特別講義を実施しました。

■ 「カーボン」原書読書会

「ドローダウン」「リジェネレーション」の著者、ポール・ホーケンの最新作「Carbon: The Book of Life」の日本語版発刊を前に、いち早く英語版を読み解く読書会を開催しました。参加者と1章ずつコツコツと読み込み、合計15回で読了しました。**これがきっかけとなって、日本語版の目次制作協力につながりました。**

■ 「カーボン」日本語版読書会「カーボン・ウィズダムへの扉」と題して全5回で開催



2026年1月に発刊された、「カーボン ― 炭素をめぐる生命と循環の物語（ 山と溪谷社）」を、予習不要でこの本の本質に触れ、視座を高めるための場として読書会を企画しました。

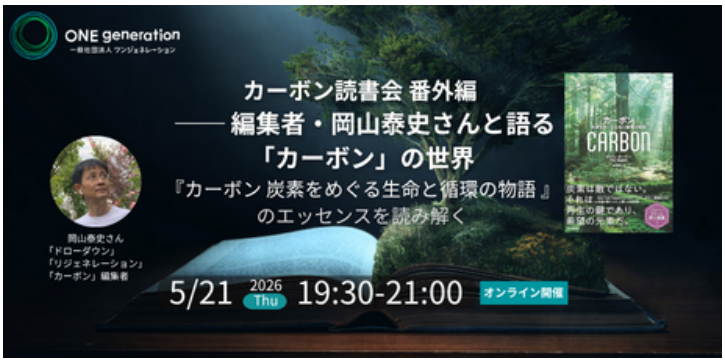
本書の日本語版制作で「索引（インデックス）」作りに参加した鮎川代表と藤原敏晃氏、梅香佐知子氏の3名がナビゲートを担当。毎回 3章を解説し、合計5回開催しました。毎回10〜15名程度が参加し、美しいスライドとともに読み込んでいきました。

読書会の第1回、第2回の詳しい様子はnoteをご覧ください。

開催実績

第1回　2026年2月27日
第2回　2026年3月13日
第3回　2026年3月24日、第4回　2026年4月10日、第5回　2026年4月23日

■ 「カーボン」読書会 番外編：編集者・岡山泰史さんと語る「カーボン」の世界、オンライン開催



カーボン日本語版の5回の読書会を終え、本書の編集を手がけた山と溪谷社の岡山泰史さんをお迎えしオンラインでトークセッションを行いました。岡山さんは「ドローダウン」「リジェネレーション」の出版にも携わり、ワンジェネレーションとも長く深い関わりを持つ方です。

その岡山さんの編集者の視点と、5回の読書会のナビゲーターを務めたメンバーがこの本から受け取ってきたものやそれぞれの場所から見えていた「カーボン」を持ち寄り、参加者とともに、この本を日本でどう活かしていくかを考える時間となりました。

■　「ONE generation コミュニティギャザリング」スタート



2026年1月からリジェネレーション[再生] の考え方に共感する仲間同士が、共に学び、連帯のきっかけを育むことを目的にしたオンライン交流会「ONE generation コミュニティギャザリング」を開始しました。
毎月1回、オンラインで開催し、6月までにのべ174名が参加しました。毎回異なるテーマでコミュニティメンバーをプレゼンターに、参加者同士の対話も大切にしています。

開催実績

2026年 1月：第1回　書籍「カーボン(炭素)」を語る交流会
※ご参考：
・「カーボン」のエッセンスをコンパクトにまとめた20分解説
・10分でわかる　『カーボン』原書の魅力。～ポール・ホーケンの言葉を「生」で味わう
・開催レポート（note）

2月：第2回　「Earth Companyと巡るフィールドワーク in バリ」報告会
3月：第3回　里山時間をすべての人に届ける SATOYAMERの挑戦　ゲスト：粟田あやさん
4月：第4回　「リジェネラティブデザイン」を語る交流会　ゲスト：増村江利子さん
5月：第5回　企業にリジェネレーションを届ける -研究会の考え方と背景を語る-　鮎川詢裕子代表
6月：第6回　あらゆる生命が共に繋栄する未来を願って　ゲスト：山口有里さん

■　リジェネレーション・ワークショップ in Kamakura　開催



Zen2.0が主催した「マインドフルネスシティ鎌倉ウィーク」のアクティビティとして、2025年 11月 21日に神奈川県・鎌倉を舞台にリアルイベントを開催しました。
体験版として特別にアレンジしたリジェネレーション「ベーシック講座」の座学の後、日蓮宗霊跡本山比企谷妙本寺に場所を移し、境内の森の中でサイレントウォークと瞑想を通して“いのちの網の目の一部としての自分”を体感するワークを実施しました。
noteでも詳細をご覧いただけます。

開催概要

日時： 2025年11月21日（金）13:30～16:00
会場： 神奈川県鎌倉市生涯学習センター「きらら」和室／妙本寺
主催： Zen2.0（Mindful City Kamakura Week）
企画・運営： 一般社団法人ワンジェネレーション
参加者： 一般参加者・Zen2.0関係者ほか

■　2025年7月16日「未来を守る『ADAPTATION アダプテーション［適応］』とは？～気候変動時代のリスクに備えるために～」セミナー開催



2025年7月16日に、国立環境研究所気候変動適応センターとのコラボイベントをオンラインで開催しました。「ADAPTATION [適応] 気候危機をサバイバルするための100の戦略」の編著者である肱岡靖明さん、著者の根本緑さんをお迎えしたオンラインでのトークセッションは、リジェネレーション［再生］の視点を交え、「適応」の重要性をより深く理解する2時間となりました。

気候変動による影響を日常生活でも強く感じる昨今、個人のみならず全産業がどう適応していくか、も重要な課題となっています。

開催実績

日時：2025年7月16日（水）19:00～21:00（オンライン開催）

プログラム：

第1部：気候変動のリアル
肱岡靖明さん　国立環境研究所気候変動適応センター　センター長

第2部：適応（ADAPTATION）の重要性
根本緑さん　国立環境研究所気候変動適応センター　高度技能専門員

第3部：リジェネレーションの視点
リジェネレーションの概念とリジェネラティブな適応策の事例紹介

ミニセッション：適応とリジェネレーションはどのようにつながるのか

主催：一般社団法人ワンジェネレーション
協力：国立環境研究所　気候変動適応センター、株式会社山と溪谷社
参考：[気候変動適応情報プラットフォーム]

VISION

Regeneration of LIFE
あらゆる生命のつながりを再生する

MISSION

あらゆる生命と協働し、
自然の摂理と調和するあり方への変容を喚起する

私たちの問い

ONE generation
一般社団法人 ワンジェネレーション

https://onegeneration.jp/

東京都中央区銀座6丁目6番1号5階